

八雲総合病院

地域から必要とされ、信頼され、支えられる病院を目指して



■病院の概要

令和5年12月1日現在

医師数：22人
 病床数：310床（一般166床）
 外来患者数：570人/日（令和4年度実績）
 入院患者数：205人/日（令和4年度実績）
 待遇：1年目500千円/月 賞与：1,000千円/年
 2年目550千円/月 賞与：1,100千円/年

指導医数 13 人	研修医数 3 人	救急搬送患者数 673 件	手術件数 994 件
---------------------	--------------------	-------------------------	----------------------

■初期臨床研修プログラムの一例 (令和4年度実績) (令和4年度実績)

1年次に必須項目をローテーションとし、補完については2年次の自由選択にて研修します。
 2年次には地域医療4週、選択科目については、内科・外科・産婦人科・小児科・整形外科・精神科・眼科・耳鼻咽喉科・地域医療からの選択が可能となっています。また、将来志望される科目等の状況に応じ、北海道大学・札幌医科大学・旭川医科大学へ短期研修（12週以内）、函館中央病院内科研修（4週以内）可能。

2023年12月時点案

1年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科						救急		外科	小児科	産婦人科	精神科	
2年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	地域医療	自由選択（北海道大学・札幌医科大学・旭川医科大学への短期研修、12週以内/函館中央病院への内科研修、4週以内可能）											

4月 3月
 ■指導医からのメッセージ

当院は北海道の道南地域にあり、函館まで電車で1時間、札幌までは約3.5時間の距離に位置し、精神病床100床を含む総ベッド数310床を持つ中型病院です。近隣地方の地域中核病院として、1年365日救急指定病院となっており、様々な症例を経験できます。

当院でのプログラムは、1年目必修分野終了後、2年目は地域医療4週を除けば希望に合わせて自由なプログラムを組む事が可能です。当院での研修は必修化が全て揃っており、地域医療・外来研修を含めた内科・外科・小児科・産婦人科・精神科全て当院のみで研修ができ、希望により道内各大学への短期研修も可能としています。

研修生活では、八雲駅が徒歩圏内のオール電化の医師住宅が完備されており、給与に関しても当直手当や出張手当等も含め手厚くなっています。

病院見学大歓迎！旅費負担もあります。北海道の地域医療に興味のある医学生の方々ご検討よろしくお願ひします。
 プログラム責任者：下出 和美（整形外科部長：人工関節センター長）



■研修医からのメッセージ

当院での研修は1年次に必修科の大半を回り、2年次は地域研修と残り11か月が自由選択となっています。必修科に関しては地域研修を含め全て当院で研修を行うことができ、個々の興味に応じた研修を受けることができます。自由選択の期間は当院に加えて道内大学病院での研修も可能です。指導は原則マンツーマンであり、経験豊富な指導医のもと、初診から入院、退院後のフォローまでの一連の流れを実践的に学ぶことができます。また、地域唯一の総合病院であり、様々なコンディジーズを中心に地域医療について学ぶことが可能です。総合して自由度が高く自分の興味やペースに応じた研修を行うことができるプログラムとなっています。

生活面では土日は休みとなっており、研修医室や医師住宅等福利厚生に手厚く、メリハリのある研修生活を送ることができます。八雲町は医師住宅から病院やスーパー、駅などすべて徒歩圏内にあり、車がなくても日常生活に困りません。地域医療に興味がある方、自分のペースで頑張りたい方、是非一度見学に来てみてください。

初期研修医 岩佐 拓真



■連絡先

ADDRESS
 〒049-3197 二海郡八雲町東雲町50番地
 PHONE
 0137-63-2185
 担当部署
 八雲総合病院庶務課庶務係 上野 千秋
 E-MAIL
 chiaki.ueno@hosp.town.yakumo.hokkaido.jp
 URL
<http://www.hosp.town.yakumo.hokkaido.jp/>

■専門研修プログラム（基：基幹施設、連：連携施設）

基	連	領域	基	連	領域	基	連	領域
	●	内科		●	眼科			臨床検査
	●	小児科			耳鼻咽喉科※			救急科
		皮膚科※		●	泌尿器科※			形成外科
	●	精神科			脳神経外科			リハビリテーション科
	●	外科			放射線科			総合診療
	●	整形外科			麻酔科※			
	●	産婦人科			病理			

注 関連施設等の場合は、各領域名の後に「※」を付しています。